



校報

岩見三内

令和6年度 第8号
令和7年3月6日発行
秋田市立岩見三内小学校
秋田市立岩見三内中学校

岩見三内中学校卒業生としての自信と誇りを

校長 菅原 明

いよいよ明日は中学校の卒業式となりました。ここ岩見三内で学び育ったことを自信と誇りに、それぞれが進む道で活躍できるよう願っています。岩見三内中学校だからこそできること、強みを自覚するとともに、その強みを保護者の皆様、地域の皆様にも是非ご理解いただきたいと思います。

小規模であることのデメリットばかりに目が行きがちですが、もちろんデメリットばかりではありません。デメリットにばかり目が行ってしまうのは、メリットを最大化できていないから、自覚できていないからかもしれません。岩見三内で学ぶ最大のメリットとは何でしょうか。

他校のように学級30人、学年で100人近くもいれば、子どもたちはなんとなく傍観者として過ごすこともできます。しかし、全校で約30人の他校の1学級分しかいなければそうはいきません。みんなが当事者意識をもち、お互いを支え合うようにしなければ様々なことが成立しません。私は、岩見三内で学ぶ最大のメリットはここにあると思っています。当事者意識をもって、他者と協力してその気になって主体的に活動に取り組むことで、社会に出て他人任せや無責任にならない、信頼される人間に育つことができる、その礎を築くことができると思います。まして社会に出れば様々な世代との協働が求められます。異学年交流はその基本的な姿勢を身に付けられる、この学校、小中併設校の強みであると考えます。

学校の人数、規模ではなく、置かれた環境で何を見て、何を聞いて、誰と出会いどう関わり考えを深め、何を成してきたのか、が問われるのだと考えます。長いものに巻かれ、何を成し得たのか実感のないまま月日を過ごした人と、課題を見据え、その解決に向けて何かを成し遂げてきた人では、信頼度も期待度も格段に違ってくるはずです。もっともっと、岩見三内での学びが実は貴重かつ有益な学びであることを、子どもたちに自覚させるとともに、保護者の皆様や地域の皆様と深いところでの共有を図るべきであったと反省しております。

一昨日、中学生から「まめだすとーく」を聴いての感想などを記したメッセージを受け取りました。多くの生徒が、岩見三内での体験的な学習が生きて、地域への誇りや魅力発信への意欲が高まったことを書いていました。本当にステキな生徒たちだな、よりよく育っているな、と実感しました。

多くの方々に、岩見三内小学校・中学校での学びを誇りに思ってもらえるよう、今後一層の教育活動の充実・周知に努めてまいります。



今年度の中学校の学習の振り返り

1 今年度の取組

本校では、めざす子どもの姿を実現するために、令和3年における学習指導要領全面実施以降、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組んでいます。

令和5年度は少人数の学習集団での「対話」を研究しました。その中で生徒が単元前・単元内で身に付けているはずの既習の知識・技能に注目してないことが明らかになりました。知識・技能を使いこなせるようになると学びが深まります。そこで今年度は「身に付けた知識・技能を活用しながら対話ができる子ども」をめざすこととし、主に二つのことに取り組みました。

①知識・技能を想起させる振り返り

下は中学2年生F I Tの振り返りです。教科を横断して様々な知識・技能を活用していることがうかがえます。



②知識・技能を想起させる対話

単元の終盤に身に付けた知識・技能を活用した対話を設定するように努めました。

2 成果と課題

実践を重ねた結果、7月と12月に実施した「秋田っ子・あい調査」の質問「これまでに学習したことを活用できないか考えることがある。」では、否定的回答が減少しました。

	1年 (%)	2年 (%)	3年 (%)
あてはまる	28.6→25.0	50.0→25.0	14.3→57.1
どちらかといえばあてはまる	42.8→62.5	25.0→75.0	57.1→42.6
どちらかといえばあてはまらない	28.6→12.5	25.0→0.0	14.3→0.0
あてはまらない	0.0→0.0	0.0→0.0	14.3→0.0

学力の面でも成果が見られました。
次の表は「令和6年度秋田県学習状況調査」における各教科の平均通過率(正答であった生徒の割合)を県と比較したものです。ほとんどの教科で県平均を上回る結果となりました。

	本校中1	県中1	本校中2	県中2
国語	66.7〇	64.9	86.1〇	75.2
数学	59.5▲	62.7	63.9〇	60.1
英語	65.7〇	65.6	55.6▲	56.8
理科	62.7〇	61.8	66.7〇	61.1
社会	86.5〇	68.0	73.6〇	59.9

次に、各学年の成果と課題を具体的に見ていきます。

【1年生】

話合いや英語でのやり取りなどの動きを伴う学習活動に意欲的には取り組む一方で、反復練習や家庭学習などの取組には個人差が見られます。

各種調査では、「将来のために学習が大切である」の割合は高いものの、「勉強が好きだ」は低い結果となっています。これは「やむを得ず」勉強しているということであり、先の活動の耐性の低さにつながっていると考えられます。

今後も少人数の強みを生かして個に寄り添って粘り強く指導し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を働きかけます。そして、「分かった・できた」という達成感を味わわせる授業づくりに励みます。ご家庭でもお子さんの取組を支え、励ましていただけるとありがたいです。

【2年生】

学習に意欲的に取り組もうとする姿勢が見られます。家庭学習も知識・技能の定着をめざして工夫しながら取り組んでいます。

時折生徒が話合いや発表への苦手意識を口にする場面を目にしますが、授業で経験を重ねることで着実に力を付けてきています。国語ではビブリオバトルや討論の学習を経て話す力を付けました。理科では実験結果を予想し合ったり考察し合ったりすることで、一人一人の理解を深めることができました。

今後も、友だちとの対話や既習の知識・技能の活用を通して、困ったことを解決したり考えを深めたりしてほしいと思います。

【3年生】

3年間(9年間)を通して基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができました。また、身に付けた知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を高めることができました。

「令和6年度全国学力・学習状況調査」では、次の成果が見られました。国語の「書くこと」に関する設問で全国平均を大きく上回りました。数学のデータの活用領域では、判断理由を明確にし、数学的な表現を用いて説明することができました。

また、各種調査では「地域をよりよくしたい」への肯定的な回答が多い一方で、ニュースや新聞や本を読んだりする割合が低い結果となりました。全国的に高校生の読書量が下がる傾向にありますが、本校3年生はこれからもニュースや新聞、本を読んで自己の世界を広げることを願っています。

(文責：井上早希)

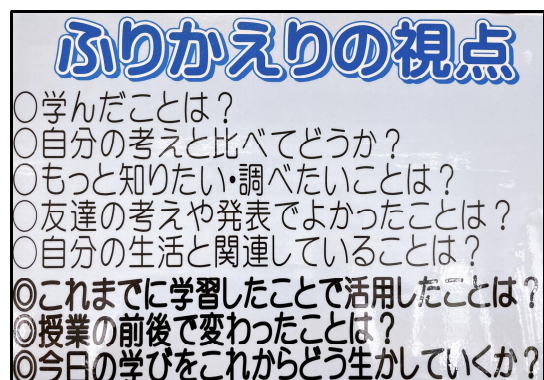
今年度の小学校の学習の振り返り

1 今年度の取組

本校では、中学校と同様に「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組んでいます。

今年度は「身に付けた知識・技能を活用しながら対話ができる子ども」をめざし、授業で培った知識・技能を想起した振り返りの時間を重視して学習活動に取り組んできました。

各教科の授業の最後に行われることが多い振り返りの場面において、子どもたちが既習事項を想起できるよう「振り返りの視点」を提示しました。



2 成果と課題

それぞれの授業で振り返る際の視点を絞ったり、学習の最後には、単元全体を振り返る活動を取り入れたりと、学習内容に合わせた振り返りの時間を設定しました。少しずつ、子どもたちから「前の〇〇の学習が使える」「去年の□□の勉強って、これにつながっていたんだ」などの声が聞こえるようになり、学習内容のつながりに気付いて前の学習を生かそうとする様子が見られるようになりました。話し合い活動でも、既習事項を生かして自分の考えを述べたり、説明したりする子どもが増えてきました。

一方、「令和6年度秋田県学習状況調査」での各教科の正答率は表の通りになりました。各学年の成果と課題も具体的に見ていきます。

[4年生]

	本校	秋田県
国語	66.7%	69.9%
算数	55.6%	70.9%
理科	61.9%	71.3%

漢字の読みや敬語がきちんと身に付いてきています。算数でも、ドリルタイムを継続したことで、かけ算の筆算など基本的な計算や作図などが定着しました。今後もミニテストに向けて計画的に学習できるよう声かけを継続していきます。

理科では、日常生活の事象と問題を関連付けたり、自分なりに予想したりする活動を取り入れました。どの教科でも、主体的に学習に参加し、学習したことを日常生活に生かそうとする姿が見られるようになり、1年間の成長を感じています。

[5年生]

	本校	秋田県
国語	74.7%	77.0%
算数	40.0%	68.3%
理科	58.9%	77.4%
社会	66.7%	74.0%

算数での基本的な計算や、社会科の地域の産業などの既習事項はきちんと身に付いています。

国語では、説明的文章において、事実と感想・意見の関係をもとに要旨をとらえることを苦手としている子どもが多かったので、段落同士の関係を押さえて読み取ることができるよう、今後も文章の構成について話し合う活動を増やしていきます。

理科では、実験の際に何をそろえて何を変えるか考える活動を常に取り入れ、条件制御を意識しながら学習を進めたことで、実験方法の考え方等が身に付いてきています。

話し合いを重視した授業を積み重ね、自分の考えを述べたり説明したりする力が高まってきました。来年度は、学習内容と日常生活を結び付けたり、発展的な学習に取り組んだりすることで、知識を深めていきたいと思っています。

[6年生]

	本校	秋田県
国語	66.7%	79.8%
算数	46.3%	67.4%
理科	81.5%	74.5%
社会	68.5%	74.1%

理科で個別実験や別法を用いた再実験を行ったことや、社会科で地域素材や実物を活用したことで、学習意欲が高まり、理解を深めることができました。

国語の説明的文章で事実と感想・意見の関係をもとに要旨をとらえることや、算数の与えられた式や図から内容を読み取ることについては、苦手としている子どもが多く見られました。今後も文章の構成について話し合う活動や、自分と友達の式や図を見比べ、考えを読み取る活動を重視していきます。

ICTの活用や、相手意識・目的意識を明確にした活動の設定により、自分の考えをしっかりと相手に伝えることの大切さを意識するようになってきています。中学校でも、学びの成果を生かして新たな課題に挑戦したり、友達の考えを参考にして、自分の考えを深めたりできるよう、頑張ってもらいたいと思います。

来年度も、子どもたちの力を高めていけるような授業作りを行っていきます。

(文責：宮田彩花)

3年生に感謝する会

2月21日（金）に中学校では授業参観とともに「3年生に感謝する会」が行われました。1年生、2年生がそれぞれの感謝の思いを伝え、3年生から熱いメッセージを受け取りました。また、生徒会が作成した9年間の思い出のスライドショー、ALTのリオ先生のピアノ演奏、校長先生のマツケンサンバの披露など、それぞれの場面が一人一人に印象深く、心に残りました。



「秋田の昔話」の読み聞かせ

2月27日（木）に中学校で地域の主任民生児童委員を務める石塚紀子さんから「秋田の昔話」の読み聞かせをしていただきました。BB秋田との連携によるスポーツレクや全校百人一首大会で地域の方々をお招きして交流を深めてきましたが、その活動への感謝の気持ちから実施していただくことになったものです。



6年生ありがとう集会

3月4日（火）に小学校で、4・5年生が中心となって準備を進めた「6年生ありがとう集会」が行われました。6年生のこれまでの活動を振り返るスライド上映で懐かしい気持ちになり、クイズやゲームで盛り上がり、メッセージの贈呈で感謝の気持ちを伝えました。最後は6年生が花のアーチをくぐり、みんな笑顔で集会を終えることができました。4月から6年生は教室が少し遠くなりますが、これまで通り仲良く過ごせるとよいですね。

